

大学等名：福岡歯科大学

テーマ：テーマII(学修成果の可視化)

本事業は、学修成果の可視化を目的に、教育支援・教学IR室を設置して教学マネジメントの拠点を築き、各授業科目の行動目標、教育内容、評価方法の整合性を検証し、評価基準の平準化を行う。さらに、各授業科目の行動目標を、6つのディプロマポリシー（DP）および4つの学士力に分割し、それぞれに対応した評価指標を作成し到達度を可視化する。さらに卒業生（1年後、5年後、10年後）を対象に調査し事業の成果を把握するとともに、PDCAサイクルにより教育内容・方法等の改善を全学的に展開し、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの改善等も検討しながら大学教育の質的転換を図り、内部質保証を行う。

社会への貢献と支援

学士力の高い歯科医師養成

ステークホルダーからの
フィードバック

学生指導の成果をフィードバック

社会人基礎力・汎用的能力を重視した学生指導

内部および外部評価委員会による事業評価と点検作業

教育支援・教学IR室
(室長:学長)

教学マネジメント

ディプロマポリシー(DP)

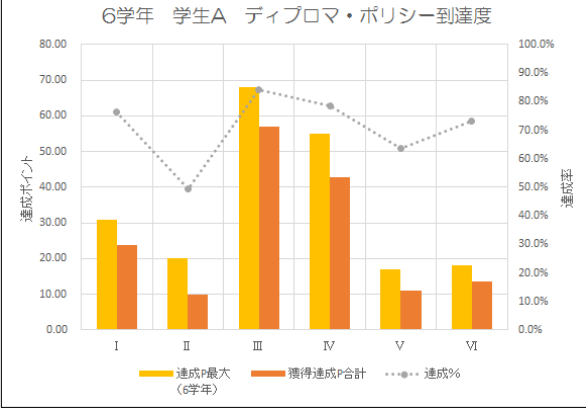
- 「I:プロフェッショナリズム」「II:コミュニケーション能力」
- 「III:口腔医学の知識の具有と応用」
- 「IV:口腔医学の実践」「V:地域包括ケアの理解と実践」
- 「VI:国際力の涵養」

行動目標
の見直し

シラバス基本
レイアウト
教育目標領域、
評価方法の設定

評価の平準化
①ブループリント
②ルーブリック
③ポートフォリオ

DPおよび学士力を指標とした到達度の可視化



分析結果に基づいた
教育の質的改善

【事業の成果】

学務課

評価資料の作成

学務委員会
授業と行動目標の
評価の実施

FD委員会
FD Workshopの
開催

FDによる教育の質の改善

行動目標の数値化

行動目標の評価とFD Workshopの成果をフィードバック

事業の成果

	H26年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
学生の授業外学修時間（時間/週）	6.4時間	12.0時間	14.0時間
ディプロマポリシーと行動目標との関連を明示した科目	0.0%	100.0%	100.0%
学生の授業外学修のためのe-learning用コンテンツを作成した科目	50.0%	100.0%	84.8%

本事業を実施することにより、
・教育の目標が明確となり、PDCAサイクルによる教育の改善が促進される。
・根拠に基づいた評価が行われ、教育の質及び信頼性が高まる。